



7月後半より、弊社においてもコロナウイルス感染症の第7派により毎日のようにお客様や店舗より感染の連絡を頂いております。不幸中の幸いとも言えるのがほとんどのお客様が軽症（といっても39度の高熱ですが…）で済んでいる事です。しかし医療保険などの入院保障では、自宅で療養の場合でも病院での入院と同じとみなして、保険金をお支払いしていましたが、いよいよ支払い基準の見直しになりそうな気配です。

## 急増する感染者と支払い件数

新型コロナウイルスの自宅療養患者数は8月10日時点で、全国で154万4096人（厚生労働省調べ）となっており、愛知県は東京都、大阪府に続いて3番目に多い10万9746人でした。お盆明け後も患者数は高い水準で推移しており、政府は新型コロナウイルスを感染症法の2類（結核やSARSと同類）から5類（季節性のインフルエンザと同類）に位置付ける検討に入りました。5類になれば患者の窓口負担も通常のインフルエンザと同様に生じる可能性が大了。同様に自宅待機日数も短縮されると予想され、日常生活への影響を少なくすることはできそうです。



## 時代のあだ花的商品 コロナ保険

一部の保険会社やミニ保険会社が相次いで発売した「コロナ保険」ですが、感染者の急増が続いた結果、相次ぐ値上げや販売中止となっているケースがほとんどです。

コロナになったと嘘をついて請求する「不正請求」が相次いでいる。という事で、保険商品の設計の難しさを感じます。新しいニーズに対応することは必要ですが、商品の安定供給という視点も大切です。

## 医療保険の支払いも9月までかも？

生命保険協会と損害保険協会は、現在自宅療養時に「みなし入院」として支払い対象になっている入院保険金支払い基準を早ければ9月中に見直しする予定です。

今後、支払い対象になるのは①65歳以上②入院を要する人③新型コロナの治療薬投与の必要がある人④妊婦のいずれかの条件を満たす人になりそうで、現在の支払い対象者の3割程度になる予測です

**新基準が適用されるようになれば、「感染＝請求」といかなくなる事が増えるでしょう。**



コロナ感染になった場合、生命保険・医療保険では保険に加入できない期間が1か月～数カ月程度出来てしまいます。その間に重大な事故や病気にかかってしまった場合、今後保険に加入できない危険もあるため、やはり生命保険・医療保険の加入は「まだ大丈夫かな？」と思っている時が加入時と言えるでしょう。先送りにしてもあまりメリットがないのが生命保険です。

## メンバー 近況報告

### まるっとおもてなしクリーンアップ大清掃活動

岩瀬 英之

先日、せともの祭の前に行われる清掃活動に参加してきました。川沿いや商店街の周りなどの清掃を地域の方たちと行う活動で、所属している瀬戸商工会議所青年部が深川神社の前にある宮前公園でイベントをするので、利用する前に清掃活動に参加して草刈りやゴミ拾いをしてきました。17時半からの清掃活動の予定でしたが、その日は昼ごろまで雨が降っていたため延期になるかなと思っていました。参加する青年部のメンバーも心配していましたが、17時頃にはすっかり雨も上がり清掃活動することができました。昨年が天候不良で中止になっていたため宮前公園の草は伸びきっていて、せっせと草刈りや草むしりをしていました。例年、青年部のメンバー5～10人くらいの参加なのですが、今回はせともの祭の開催も決まっていることもあり、15人くらいのメンバーが集まりました。感染予防でマスクの着用をしていましたが、一人ひとりの間隔を空けて作業している間は熱中症にならないようにマスクを外したりしていました。中腰での作業だったので、テニスの試合するより大変でした。せともの祭には今回初参加になるので、お祭り当日も楽しんで参加してきたいと思います。



### ミーちゃんの入院

小川 とも子

いつも元気でニャーニャーうるさいミーちゃんの様子がおかしいのです。おしっこが出そうだけどでないのかトイレで用を足すのではなく、あちこちにチョビリチョビリやってしまうのです。その度に拭きに行ったり洗濯したりと大忙しです。食事も取らなくなったので病院に連れて行きました。病院に連れて行くのも一苦労、なんと言っても体重が5kg超ありますので、キャリーバッグに入れると尚重くなって大変です。病院の診察台に乗ったら静かになりました。いろいろな検査をして膀胱炎と石が粘膜を傷つけているとの事で入院が必要との事でした。初日はレントゲンやエコーを取って2万円でした、でも入院となるとかなり治療費が高額になると思い、退院の日に持参必要な金額を問い合わせたところ、10万ちょっとという事でした。人間と同じく動物が病気するとお金がかかりますので、ミーちゃん預金をしておかないといけなかなと思いました。ミーちゃんが入院していた時、夫も不在で一緒に生活しているミーちゃんまでも“いない”と何とも言えない寂しさに、これがペットロスというのかなあ？と思ったりしました。今は、いつものように朝と夕方の散歩をする程元気になり一安心です。



### 名古屋港水族館

古川 友架

ファミリーイベントで名古屋港水族館に行ってきました。今年は名古屋港水族館30周年とのことでスタッフの方に水族館の見どころを教えてくださいました。その方は昔マイワシの水槽の担当になったこともあり、“マイワシのトルネード”とネーミングしたそうで、おすすめなので見てくださいと言われ、見たことがなかったのでも見てみることに。30分待っていざ始めてみると、イメージしていたものより、はるかに良く、3万5千匹のマイワシがきらきら輝く花びらのようにも見え、音楽と照明の融合がすばらしくとても感動しました。今までイルカのショーは欠かさなかったのですが、今度からはマイワシのトルネードも必ず見たいと思いました。まだ見たことがない方はぜひ見てみてください♪娘は今回でシロイルカのペルーガが好きになり、ぬいぐるみもねだられました。またプチ情報ですが、水槽が大きくて有名な沖縄の美ら海水族館や大阪の海遊館よりもはるかに名古屋港水族館の野外水槽が大きいそうです。日本一の大きさで校舎が1つ入る大きさとのこと。近くの水族館が日本一の大きさなんて知りませんでした。

